

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCM208A	TCM_コミュニケーションⅡ_A	
科目名（コード）	TCM208	TCM_コミュニケーションⅡ_A	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CM2	単位数	2単位30
授業担当者	浅沼 渉	時間数	
成績評価教員	浅沼 渉	講義期間	秋期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が自分とは異なる様々な主張を理解するために、様々な形式の文章から統合的に必要な情報を読み取れるようになる。
全体の内容と概要	医療を中心に様々な事柄の文章を読み、ディベートや発表などの活動を通してその事柄だけでなく他者の主張も深く理解していく。高度な日本語表現を習得する。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	実際のビジネスで使用される日本語に触れる	ビジネス日本語演習 20日で合格N1
2	実際のビジネスで使用される日本語に触れる	ビジネス日本語演習 20日で合格N1
3	実際のビジネスで使用される日本語に触れる	ビジネス日本語演習 20日で合格N1
4	筆者の主張を読み解く力をつける	必修パターンN1 読解 2章実践練習 Unit5 20日で合格N1
5	筆者の主張を読み解く力をつける	必修パターンN1 読解 2章実践練習 Unit5 20日で合格N1
6	筆者の主張を読み解く力をつける	必修パターンN1 読解 2章実践練習 Unit5 20日で合格N1
7	お知らせ文章などから正確に情報を読み取る	必修パターンN1 読解 2章実践練習 Unit6 20日で合格N1
8	お知らせ文章などから正確に情報を読み取る	必修パターンN1 読解 2章実践練習 Unit6 20日で合格N1
9		JLPT模試
10		JLPT模試
11	実際のビジネスで使用される日本語に触れる	ビジネス日本語演習 20日で合格N1
12	実際のビジネスで使用される日本語に触れる	ビジネス日本語演習 20日で合格N1
13	実際のビジネスで使用される日本語に触れる	ビジネス日本語演習 20日で合格N1
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	必修パターンN1 読解・聴解 20日で合格N1
参考文献・資料等	適宜プリント配布
備考	進捗は変更になることがあります。 月曜日3限